

第6回 JAPAN カップ大会要項

～今日より明日はもっと野球が好きになる！～

R7.3.21

※赤字下線：前回からの主な変更点・留意点

- 1 主催 JAPAN 岡崎
- 2 協賛 ベ이스ボール・**(有)スポーツショップ コンドー** 他
- 3 目的 学童軟式少年野球チーム参加による試合を通して、技術の向上、協調性を養い、チームのレベルアップを図る事を目的とする。
- 4 参加費 1チーム当り **6,000円**
- 5 試合グラウンド 【予選リーグ・決勝トーナメント】 対戦チーム間で相談し決定
※使用するグラウンドのグラウンドルールを適用する。
【準決勝・決勝戦】 大会事務局にて設定
- 6 試合球 【予選リーグ・決勝トーナメント】 公認J号球を各チーム試合時2球ずつ出し合う。
※メーカー規定なし。
【準決勝・決勝戦】 大会事務局で準備。
- 7 大会日程 【予選リーグ】 4月～9月の期間で実施 ※自主対戦方式で調整
【決勝トーナメント】 9月～11月の期間で実施 ※自主対戦方式で調整
※決勝トーナメントの組み合わせは予選リーグの結果をもとに決定。
**※決勝トーナメントの日程調整の連絡事項について、共有及び円滑に進めるため
若番チーム様に、日程調整の確認をさせていただきます。**
【準決勝・決勝戦】 11月～開始予定
※日程調整により年明けにずれ込む可能性あり。日程、グラウンドは大会事務局で調整
- 8 熱中症対策 **各所属連盟から熱中症対策に関する指示が出た場合は、その指示に従ってください。**
- 8 審判 【予選リーグ及び決勝トーナメント】
各チームから2名出し合い4審で行う。※話し合いで3審でも可能とする。
ホームチームが主審・2塁審で行う。 ※話し合いでその限りではない。
※複合バット禁止にかかわる確認について、試合前に確認をお願いします。
3者（主審・各監督）にて、確認をお願いします。
複合バット（一般用の明記）使用不可
複合バット（少年用の明記）使用可能 ・ 金属バット（一般用の明記）使用可能
【準決勝・決勝戦】
岡崎市軟式野球連盟所属の審判及び大会事務局で行う。
- 9 表彰 決勝戦後閉会式にて行う。
各リーグ 優勝・準優勝チームには表彰状・トロフィー・選手全員にメダル
個人賞（MVP・敢闘賞・大会長特別賞） ※大会長特別賞はAリーグのみ
※個人賞の受賞者の氏名をホームページにて、掲載させていただきます。
なお、掲載を辞退される場合には事務局までご連絡下さい。

10 競技規定

① 決勝トーナメント進出チーム選出について

**Aリーグ：24位まで Bリーグ：16位まで Cリーグ：12位まで
予選リーグ 4チーム編成のリーグ戦で行います。**

3チーム編成リーグにつきましては、（1勝・勝ち点3・得点6・失点0）とする。

② Aリーグ（6年生以下） Bリーグ（5年生以下） Cリーグ（4年生以下）とする。

但し、女子選手は1学年下の試合の出場を認める。

③ 全日本軟式野球連盟規則に準ずる。（一部独自規定有り ※③）

※投手の投球数制限についても規則に準じ適用する

- ・70球以内（4年生以下 60球以内）
- ・試合中規程投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- ・ボークにかかわらず投球したものは、投球数に数える。
- ・タイブレークになった場合、1日規程投球数以内で投球できる。
- ・牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。
- ・投球数の管理は、各チームで管理する。

④ DH制の導入は、リエントリー制を適用する事により、DH制は使用できない。

⑤ リエントリー(再出場)制を採用する。ただし打撃時に試合から退いた場合(代打)のみ適用 守備や代走には適用不可。 ※JAPAN カップ特別ルール

- ・スターティングプレイヤーは、打撃時に退いても、次の守備時一度に限り「再出場」できる。
ただし、自己の元の打順を受け継いだプレイヤーと、交代しなければならない。
- ・スターティングプレイヤー以外のプレイヤーが再出場したときは再出場違反になる。

【使用方法（例）】

- ・3回の表 7番打者 A選手(スターティングプレイヤー)に対し B選手を代打で起用。
3回の裏に代打の B選手に代わり A選手が再出場。
再出場させる場合は守備のインニング開始時に審判に B選手に代わり A選手を
再出場させる旨を宣告する。

⑥ 試合は6インング制とするが、1時間30分を超えて新しいインングには入らない。

6回終了又は1時間30分を超えて同点の場合は、タイブレークを行う。

⑦ タイブレークは、無死1・2塁、継続打順で勝敗が決するまで行う。

⑧ 6回又は1時間30分を超えた最終回の表の攻撃終了時点で先攻チームが負けている場合は、 裏の攻撃は行わず、試合終了とする。

試合の決着がついているにも関わらず、実施した裏の攻撃の得点は無効とする。

⑨ 天候等、試合続行が不可能となった場合は、5回を終了していれば試合は成立する。

後攻チームがリードしている場合は、5回表を終了すれば試合は成立する。

試合打ち切りの判断は審判が行う。

⑩ 準決勝・決勝戦のみホームランラインを設定する。ノーバン以外で超えた場合は全て2塁打とする。

⑪ 準決勝・決勝戦のみ試合前シートノックを行う。

11 試合結果報告 勝者がグループLINEにて報告

【報告内容】 スコアボードの写真、日程、リーグ、チーム名、結果

報告例：「3/28 Aリーグ JAPAN 岡崎 3-2 オールジャパン タイブ레이크で勝ち」

12 順位の決定 【予選リーグ】 勝ち点制

○勝利チーム：3点

△タイブ레이크勝利チーム：2点

▲タイブ레이크負けチーム：1点

●負けチーム：0点

- ① 勝ち点が高点の場合は当該チームの勝者が上位
- ② ①で同じ場合は、失点が少ないチームが上位
- ③ ②で同じ場合は、得点が多いチームが上位
- ④ **③で同じ場合は、若番チームが上位 (JAPAN カップ特別ルール)**
- ⑤ ①～④で同じ場合は事務局にて協議

13 注意事項

- ① 試合中の応援はアマチュア野球にふさわしいマナーを守り、常に少年の人格を尊重して、少年の誇りを失わないように配慮すること。
- ② 審判に対する抗議は監督及び該当プレイヤーのみとする。
- ③ グラウンドの整備は、両チームで行う。
- ④ グラウンド内外を問わず負傷等の事故に対して、主催者側は一切の責任を負わない。
- ⑤ 喫煙は各グラウンドルールに従うこと。
- ⑥ 公共施設を利用するため、空き缶、たばこの吸殻、ごみ等は必ず各チームで回収する。
- ⑦ チーム毎に手指用の消毒液を持参し、試合開始前、終了後に選手、指導者は消毒を行う。
- ⑧ 試合終了後には、ベンチ椅子を消毒液と雑巾を用いて清掃する。
- ⑨ 試合前後の挨拶は両チームともベンチ前で行う。
- ⑩ 当日 37.5 度以上の熱がある選手は出場を辞退して頂く。
- ⑪ 全日本軟式野球連盟 JSBB 感染予防対策ガイドラインを参照し、感染症対策を十分に行うこと。
【⑫～⑯については、準決勝・決勝のみ】
- ⑫ 集合時刻は、原則として試合開始 30 分前とする。試合毎の間隔を 40 分確保する。
- ⑬ 天候不良の場合の決行判断は、試合開始 2 時間前に決定する。
連絡手段はライングループを利用する。
- ⑭ チームの指導者は、選手、指導者、応援者等参加者全員の検温結果、咳、鼻水、喉痛等の症状有無を大会事務局が定めた「参加者（体調管理）リスト」に記入後、提出のこと。
- ⑮ 駐車場に限りがあるため 1 チームあたり 5 台程度とするが、それを超えても罰則等はない。
出来る限りの範囲で対応して頂きたい。
- ⑯ あおみ野グラウンドの北・西・東側の道路は駐車禁止とする。

大会事務局

JAPAN 岡崎事務局長 加藤